

概要

■遠隔地の計測データを通信費ゼロで収集可能

『データ収集ソフト』は、WVMシリーズとWTM-PE6シリーズの計測データをインターネット経由で遠隔収集するためのソフトウェア。既存のインターネット回線を使用するため、固定IPなどの通信コストがかからずにデータ収集が可能です。



コストを抑えて遠隔地のデータ収集を実現！

型式

WRS-VSS

動作環境

対 応 O S	Windows XP Professional Windows Vista Ultimate SP1 Windows 7 Professional (32bit/64bit) Windows Server 2003 SP2 (32bit) Windows Server 2008 R2 SP1 (64bit)
C P U	インテル® Core™ 2Duoプロセッサ (1.8GHz)以上
メ モ リ	1GB以上推奨
ハードディスク容量	インストール時、80GB以上の空き
ディスプレイ	XGA (1024×768) 以上
推奨ルーター	RT58i (YAMAHA製)

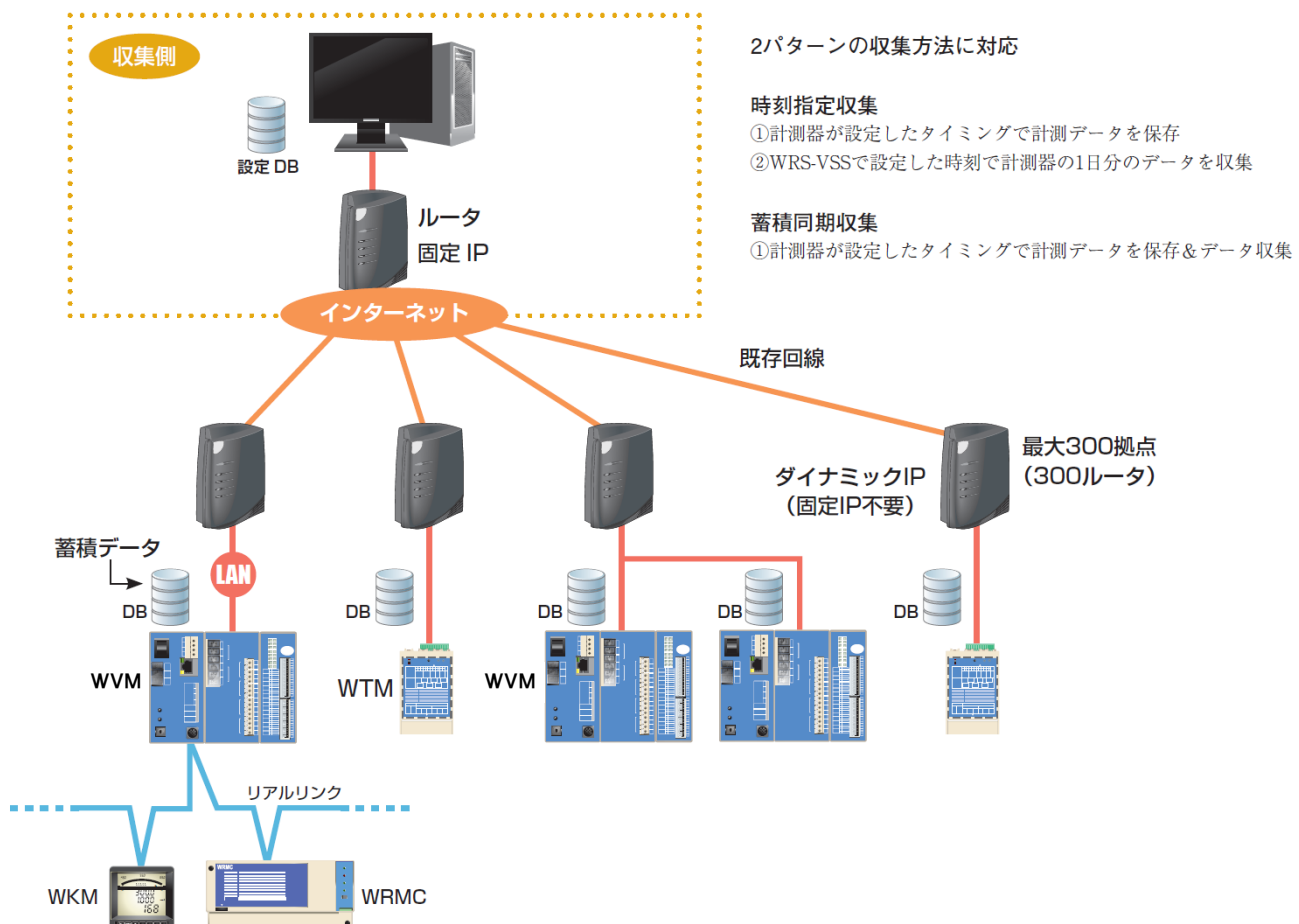
基本機能

- インターネット経由でのデータ収集
(計測データ、イベントデータ、通信ログ)
- 各種収集設定

仕様

管 理 拠 点 数	最大300拠点(300ルータ)まで
WVM/WTM接続数	WVM: 合計300台まで 1拠点当たり最大2台まで WTM: 合計1134台まで 1拠点当たり最大5台まで
収 集 間 隔	2パターンより選択可能 ・時刻指定収集(1日1回、任意設定時間に収集) ・蓄積同期収集(WVMまたはWTMの蓄積と同期したリアルタイム収集)(最短5分間隔)
イ ベ ン ト 表 示	本ソフトウェア上のイベント状態を最大1000件まで表示(プログラム起動、データ収集失敗など)
通信ログデータ保存	7日間分の通信ログデータを保存

システム構成



データフォーマット

蓄積データフォーマット

●日報・月報ソフトを使用する場合

(例) 2012/04/01 12:00,6609.24

① ②

①蓄積データ年月日時分

②蓄積データ

※計測データごとに CSV ファイルを作成します。

●日報・月報ソフトを使用しない場合

(例) 2012-04-01 12:00:00.00A0000001,W001,0,6609.24

① ② ③ ④ ⑤

①蓄積データ年月日時分秒

②端末 ID (モジュール名称)

③蓄積チャンネル No

④データ種別

⑤計測値

※1つの CSV ファイルに複数ポイントの計測データが入ります。

イベントログデータフォーマット

(例) 2012/04/01 12:00 12 LAN Link(Down)

① ② ③ ④

①イベント発生年月日時分秒

②イベント種別 No

③イベント名称

④詳細情報

通信ログデータフォーマット

●受信データ

(例) RX,2012/04/01,12:00:00.000,192.168.1.10:16142 → 16143,UL,-1,3232236132

① ② ③ ④

①受信データ年月日時分秒ミリ秒

②送信元 IP アドレス : ポート No

③受信ポート No

④受信データ

●送信データ

(例) TX,2012/04/01,12:00:00.000,16143 → 192.168.1.10:16142,RO,16144

① ② ③ ④

①送信データ年月日時分秒ミリ秒

②送信ポート No

③送信先 IP アドレス : ポート No

④送信データ